

最終更新日： 2026年3月4日

授業科目名 (講義題目)	コーポレート・ガバナンスと監査			開講学期	前期
				曜日時限	土曜 2限
				単位数	2
担当教員名	小城 武彦	講義コード	科目区分	対象学生	
		26176015	選択	1年生 / 2年生	
開講予定日	①4/11 ②4/18 ③4/25 ④5/9 ⑤5/16 ⑥5/23 ⑦5/30 ⑧6/6 ⑨6/13 ⑩6/20 ⑪6/27 ⑫7/4 ⑬7/11 ⑭7/18 ⑮7/25				
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・総合力を養う科目のため必修科目取得後の履修を推奨します ・教員及びクラスから学び取ろうとする積極的な姿勢を求めます ・本気で経営者を目指す学生を歓迎します 	キーワード	良い経営、他律的ガバナンス、自律的ガバナンス、守りのガバナンス、攻めのガバナンス、経営者の役割、フレームワーク		
全体の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自らのコーポレート・ガバナンス観、監査観を確立すること ・自社のコーポレート・ガバナンス、監査に関する改革案を策定する能力を身につけること 	個別の学習目業	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的制度・理論の理解 ・日本的経営の功罪の理解 ・現在進んでいるコーポレート・ガバナンス改革の背景・狙いの理解 ・実質的なコーポレート・ガバナンス改革のために制度を超えて何が必要か、その本質の理解 ・経営者として「良い経営」を実現するために必要なことの理解 		

授業の概要	<p>本授業では、コーポレート・ガバナンスと監査（以下「ガバナンス／監査と表記」）を、「良い経営をするための基盤」と広くとらえ、経営者の視点から、自社のガバナンス／監査の改革案を策定する能力を身に着けることを目標とします。</p> <p>経営者を外部から規律付ける、「他律的な」仕組みとしてのガバナンス／監査という視点を超えて、良い経営を実現するために、経営者が「自律的に」何をすべきかまで踏み込んでいきます。</p> <p>他律的な制度だけで「良い経営」を実現することは困難であり、近時の多くの企業の不祥事がそれを立証しているからです。</p> <p>このため、本授業では、テクニカルな制度論に時間を割くのではなく、他の授業で学んだことを「総動員」しながら、「良い経営とは何か」、「経営者として自分は何をすべきか」を考える機会にしていきます。</p> <p>実務において、経営は「総合格闘技」であり、ガバナンス／監査という視座から、「総合格闘技」としての経営にアプローチしてもらえればと考えています。</p>
-------	---

授業の最新情報 案内方法	<ul style="list-style-type: none"> ・九州大学Moodle ・QBSインフォメーションボード（website） 		
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習 ・グループワーク ・プレゼンテーション ・ディスカッション 	使用する 教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料（電子媒体） ・映像・音声資料 ・テキスト（紙媒体）
授業の進め方	<p>教員からのポイントの解説を踏まえて、ディスカッションの時間を十分に確保し、制度論を超えた経営のリアリティを理解できるよう配慮していく考えです。</p> <p>そのために、オリジナルのショートケースを題材として活用します。</p> <p>授業でショートケースを用いる場合（全15回のうち8回を予定）には、事前に目を通し、課題を考えることが必要になりますので、1、2時間の予習が必要になると考えてください。</p> <p>試験の代わりに、自社のガバナンス／監査の改革案を論じるレポートの提出を求めます。第14回及び第15回の授業では、希望者にレポートの構想をプレゼンしてもらい、全員でディスカッションをする予定です。</p> <p>受講生の経営に関する経験や知見の深さに応じて、授業開始後、内容に若干の変更が生じる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。</p>		
教科書及び 参考図書	<p>特定の教科書はありません</p> <p>理解を深めるための参考図書などは、授業の中で適宜紹介します</p>		
試験・成績 評価の方法等	<p>クラスディスカッションへの貢献 50%</p> <p>レポート 50%</p>		